



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール：ガスプロム（ロシア）会長の訪問

（4月16日付現地紙）

4月15日、ミレル・ガスプロム会長はカタールを訪問し、ハマド首長他と会談した。今回の同会長の訪問を機会に、カタール側がガスプロムに対して将来のカタールでのLNG事業への参入を提案した。

1. ハマド首長他との会談

- (1) 15日、当地を訪問したミレル・ガスプロム会長は、首長府でハマド首長と会談した。会談には、ハマド・ビン・ジャーシム首相兼外相、アティーヤ副首相兼エネルギー・工業相が同席した。
- (2) 15日、ミレル会長は、アティーヤ副首相兼工業相と会談し、カタール石油とガスプロム間のエネルギー分野での関係強化の方策について話し合った。サーダ・エネルギー・工業担当国務相他が同席した。

2. カタール石油・ガスプロム間の協力強化

- (1) ガスプロムへのカタール事業参入提案
カタール側は、ミレル会長の今回の訪問の機会に、ガスプロムに対して、カタールのノース・フィールド・ガス田の開発拡大モラトリアムが解除される2014年以降、カタールでのLNG事業に参入するよう提案した。これに対して、ガスプロム側は、大きな関心を示した。
- (2) カタールのロシア事業進出の動き
他方、カタールは、ロシアのヤマル半島でのガス田開発事業に関心を示している。